

<http://openweb.chukyo-u.ac.jp/z190119/thinking/>

英文資料アクセス プリント版に記載

配布レジュメ 1 の p.177 に関する部分までしか進まず。

4 月 30 日も続きは土屋。1 章の担当を決めます。

鈴木 3 章 記憶のベーシックス

3.1, 3.2 : pp.65- 70 用語の整理

- ・ 符号化 Encoding – 貯蔵 Storage – 想起 Retrieval
- ・ 対連合学習 (paired-associate learning)
- ・ 自由再生 (Free recall) – 手がかり再生 (clue) – 再認 (recognition)
- ・ 記銘/符号化 : 意図的学習 (Intentional learning) – 偶発学習 (Incidental learning)
- ・ (潜在学習 latent learning ; 強化学習の文脈で、報酬なしの期間の行動からの学習)
- ・ 想起/検索 : 顕在記憶 (explicit) – 潜在記憶 (implicit)

3.9: プライミング

図 3.5 活性化拡散モデル (spreading activation model)

直接プライミング / 間接プライミング

検索を「計算」と考えると、計算順序によって結果が異なるとみることができる。

PART 1 Two systems (2 つのシステム)

1. The Characters of the story (この物語の登場人物)

pp. 39 – 41 : Fast thinking の例 (automatic, intuitive, effortless, involuntary..) : 女性の顔

Slow thinking の例 (deliberate, effortful, orderly, sequential..) : 17 × 24 (408)

p.41 : 2 つのシステムの紹介

System 1 operates automatically and quickly, with little or no effort and no sense of voluntary control.

(システム 1 は、ほとんどあるいはまったく心的努力なしに、また意図的なコントロールなしに、実行される)

System 2 allocates attention to the effortful mental activities that demand it, including complex computations.

(システム 2 は、複雑な計算など、心的努力を伴う心理的な活動に必要な注意資源を割り当てる)

The operations of System 2 are often associated with the subjective experience of agency, choice, and concentration.

(システム 2 の実行は、主体性、選択そして集中といった主観的な心理体験と関係がある)

p.42 : 「自己」「意識」とシステム 2 : 信念や熟慮による意思決定。システム 1 : 心的努力を伴わずに形成される印象や感情。システム 2 が 1 に有意となる場合も。(freewheeling impulse 自由奔放な衝動 ⇒ 自発的な衝動)